

成蹊大学 地域共生社会研究所 シンポジウム

**入場無料**  
**定員300名**  
**予約不要**

# 地域共生社会の 実現に向けて

— 「元気人口」をどう増やすか —

2019年

**12月7日**  **13:30-16:00**

開場 13:00

場所：成蹊大学6号館301教室 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

「誰もが元気に、安心して暮らせる社会を」

老若男女、誰もがお互いを尊重し、生き活きと暮らせる社会はどうしたら実現できるのでしょうか。本研究所では、地域共生社会をテーマに文理融合研究プロジェクトを進めています。「元気人口」をキーワードとした本シンポジウムを通じて、今とこれからを見通す道すじを考えます。

第一部

講演：**宮本 太郎**

中央大学法学部 教授



第二部

## パネルディスカッション

宮本 太郎 (中央大学法学部 教授)

今井 貴子 (成蹊大学法学部 教授)

鈴木 誠一 (成蹊大学理工学部 教授)

渡邊 大輔 (成蹊大学文学部 准教授)

司会進行：中野 有紀子 (成蹊大学理工学部 教授)



# 成蹊大学 地域共生社会研究所 シンポジウム

## 【講演者プロフィール】

### 宮本 太郎

1958年東京都に生まれる。中央大学大学院法学研究科。中央大学法学部教授。北海道大学名誉教授。福祉政治論専攻。単著に『共生保障 「支え合い」の戦略』(岩波新書)、『生活保障 排除しない社会へ』(岩波新書)、『福祉国家という戦略 スウェーデンモデルの政治経済学』(法律文化社)、『福祉政治 日本の生活保障とデモクラシー』(有斐閣)など。

安心社会実現会議委員、内閣府参与、総務省顧問、男女共同参画会議議員、中央教育審議会、社会保障改革に関する有識者検討会座長、社会保障制度改革国民会議委員など歴任。現在、社会保障審議会・生活困窮者自立支援及び生活保護部会部会長、社会保障審議会・福祉部会部会長代理、厚生労働省・地域共生社会推進検討会座長、東京都税制調査会委員、全国社会福祉協議会理事などつとめる。

## ＜地域共生社会研究所について＞

わが国では少子高齢化への対応が喫緊の課題となっています。人口減少、家族・地域社会の変容などにより、これまでのような、高齢者・障害者・若年者といった対象者ごとに福祉サービスを提供する縦割りのシステムではなく、地域の住民がある時は支え手側、ある時は受け手側として相互に支え合う「地域共生社会」の実現が求められています。成蹊大学地域共生社会研究所では、「地域共生社会」の実現を目指し、①政策の検討、②地域社会に応じた政策の実装・評価方法、③さらにそれを支える科学技術の3つのレイヤーを統合した学融合的な研究・社会実践に取り組んでいます。



成蹊大学 法学部教授

**研究分野：比較福祉政治、イギリス政治**

生活保障の政策デザインの各国比較（低所得者・家族・就労支援など）、特にイギリスの生活保障政策形成と政治ダイナミズム、政策効果を研究。主著『政権交代の政治力学—イギリス労働党の軌跡』（東京大学出版会、2018年）。

今井 貴子



成蹊大学名誉教授、同理工学部客員研究員

**研究分野：人間工学、バリアフリーデザイン**

視覚に障害のある人の安全移動支援。道路横断を助けるためのエスコートゾーンの実用化に貢献。駅ホームからの転落の未然防止に寄与すべく事例の収集と公開に従事。<https://omresearch.jp/fall/browse/>

大倉 元宏



成蹊大学 法学部教授

**研究分野：財政学、地方財政論**

武蔵野市財政の健全性について将来にわたり検証するとともに、地域共生社会実現に向けた財源措置のあり方を検討。

浅羽 隆史



成蹊大学 理工学部教授

**研究分野：生体工学、人間工学**

視覚障害者支援のために、カメラで障害物を検知し、立体的な音として情報を伝える装置の開発に従事。

鈴木 誠一



成蹊大学 文学部准教授

**研究分野：福祉社会学**

障がいや病気のある家族のケアをする子どもを研究。専門は社会学。著書に『コーダの世界—手話の文化と声の文化』（医学書院、2009年）、『ヤングケアラー—介護を担う子ども・若者の現実』（中公新書、2018年）など。

澁谷 智子



成蹊大学 理工学部教授

**研究分野：人工知能、ユーザインターフェース**

会話エージェントの研究を専門とする。高齢者支援を目的とした傾聴エージェントの研究に従事。日々の話し相手になりながら、高齢者のコミュニケーションを活性化し、健康維持に役立つロボット/エージェントの実現を目指す。

中野 有紀子



成蹊大学 文学部准教授

**研究分野：老いの社会学、社会老年学**

超高齢社会において、高齢者がいきいきと地域で暮らすことができる社会の実現に向けた社会学的な研究を実施。とくに地域でのボランティアや介護予防活動の効果、課題を調査。

渡邊 大輔



成蹊大学 理工学部准教授

**研究分野：ヒューマンファクターズ**

主な研究テーマは自動車ドライバの運転行動分析と安全システムの設計・評価。本事業では若年者の自転車運転支援システムの設計に関する研究に従事。

竹本 雅憲

地域共生社会研究所：<https://www.seikei.ac.jp/university/research/project/lab02.html>

## プログラム

このイベントは、成蹊大学研究ブランディング事業共催で行っております。

### ■ 第一部

- ・開会の挨拶 成蹊大学学長 北川 浩
- ・概要説明 地域共生社会研究所
- ・講演 中央大学法学部教授 宮本 太郎

### ■ 第二部

- ・パネルディスカッション
- ・閉会の挨拶 成蹊大学副学長 小池 淳



成蹊大学 研究助成課

お問い合わせ先：

TEL：0422-37-3705

Email：rbp-event@jc.seikei.ac.jp